

2022年3月3日
株式会社日立製作所

日立製作所野球部が2022年シーズン開幕に合わせてラッピングバスのデザインを一新 地域関係者との一体感醸成と選手のモチベーション向上により、都市対抗野球大会優勝をめざす



デザインを一新したラッピングバス

日立製作所野球部(以下、日立野球部)は、2022年3月の公式戦開始に合わせて、チームのラッピングバスのデザインを一新します。日立野球部は、2017年より、地域関係者との一体感醸成と選手のモチベーション向上を目的に、本拠地の日立市内を運行する茨城交通株式会社(以下、茨城交通)*日立南営業所の大型バスにラッピングを施し、選手・スタッフの移動に使用しています。今回使用開始するラッピングバスは、2代目となるもので、これまでの黄色ベースのデザインを、日立野球部のイメージカラーであるオレンジを基調としたものに一新しました。日立野球部は、本ラッピングバスを、3月6日(日)開始の第76回JABA東京スポニチ大会から2025年1月頃まで、公式戦やオープン戦の移動に使用します。なお、茨城交通では、日立野球部が使用しない時期には、一般の貸切バスとして使用することとしています。

*2017年当時は日立電鉄交通サービス株式会社のバスを使用。日立電鉄交通サービス株式会社は2019年5月に茨城交通と合併。

1917年に創設された日立野球部は、これまで、都市対抗野球大会に39回、社会人野球日本選手権大会に12回出場しており、2016年の第87回都市対抗野球大会では、過去最高となる準優勝を果たしました。2022年は、「本気で獲れ」をスローガンに、選手一人ひとりが、レギュラーの獲得と都市対抗野球大会・社会人野球日本選手権大会の優勝旗獲得をめざして活動しています。

今回使用開始するラッピングバスは、日立野球部のチームカラーであるオレンジを基調にデザインしたものです。バスの左右両面に描かれた星のイラストには、都市対抗野球大会で4つの白星を上げて決勝に進み、決勝戦で

大金星を上げて優勝するという意思が込められています。日立野球部では、3月6日(日)から明治神宮野球場などで行われる第76回 JABA 東京スポニチ大会より本ラッピングバスの使用を開始し、今後、公式戦やオープン戦などの移動に活用していきます。

■日立製作所野球部ウェブサイト

<https://www.hitachi.co.jp/sports/baseball/>

■日立製作所について

日立は、データとテクノロジーで社会インフラを革新する社会イノベーション事業を通じて、人々が幸せで豊かに暮らすことができる持続可能な社会の実現に貢献します。「環境(地球環境の保全)」「レジリエンス(企業の事業継続性や社会インフラの強靭さ)」「安心・安全(一人ひとりの健康で快適な生活)」に注力しています。IT・エネルギー・インダストリー・モビリティ・ライフ・オートモティブシステムの6分野で、OT、IT およびプロダクトを活用する Lumada ソリューションを提供し、お客さまや社会の課題を解決します。2020年度(2021年3月期)の連結売上収益は8兆7,291億円、2021年3月末時点で連結子会社は871社、全世界で約35万人の従業員を擁しています。

詳しくは、日立のウェブサイト(<https://www.hitachi.co.jp/>)をご覧ください。

以上